

業績目録（大淵憲一）

著者	東北大学史料館
雑誌名	東北大学定年退職教員業績目録
号	2015-01
発行年	2016-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00134766

東北大学定年退職教員業績目録第 2015-01 号

大淵 憲一 教授 業績目録

平成 28 年 3 月
東北大学史料館

心理学講座（心理学分野）

大淵 憲一

OHBUCHI Ken-ichi	教授
大学院文学研究科・文学部 人間科学専攻 心理学講座（心理学分野）	
出身学校	
東北大学・文学部・哲学科心理学専攻	1973年 卒業
出身大学院	
東北大学・文学研究科・心理学専攻 修士課程	1976年 修了
東北大学・文学研究科・心理学専攻 博士課程	1977年 中退
取得学位	
文学修士 東北大学	1976年
博士（文学） 東北大学	1996年
略歴	
1977年—1979年 大阪教育大学教育学部 助手	
1979年—1981年 大阪教育大学教育学部 講師	
1981年—1988年 大阪教育大学教育学部 助教授	
1988年—1997年 東北大学文学部 助教授	
1997年—2000年 東北大学文学研究科 教授	
2000年—2016年 東北大学大学院文学研究科 教授	
2006年—2011年 東北大学文学研究科 副研究科長	
2009年—2011年 東北大学 教育研究評議員	
2011年—2014年 東北大学文学研究科 研究科長	
2012年—2015年 東北大学 総長補佐	
研究経歴	
1994年—1995年 米国ニューヨーク州立大学オーバニー校在外研究員	
所属学会	
日本心理学会, 日本社会心理学会, 日本犯罪心理学会, アジア社会心理学会, 日本グループダイナミックス学会, 日本応用心理学会, 国際攻撃研究学会, 紛争解決国際学会	
学会活動	
Psychology, Crime, and Law 編集員	1992年 - 現在
日本社会心理学会 理事	1993年 - 現在
日本グループ・ダイナミックス学会 研究奨励賞選考委員	1994年 - 1996年
日本犯罪心理学会 理事	1994年 - 現在
日本社会心理学会 編集委員	1995年 - 1997年
日本グループ・ダイナミックス学会 理事	1995年 - 2005年
日本心理学会 組織問題専門委員	1996年 - 1997年
紛争解決国際学会 広報委員	1996年 - 1997年
日本社会心理学会 編集委員長	1997年 - 1999年
日本社会心理学会 常任理事	1997年 - 2001年
日本犯罪心理学会 編集委員	1997年 - 現在
日本社会心理学会 事務局長	1999年 - 2001年
日本グループ・ダイナミックス学会 常任理事	2001年 - 2005年
日本心理学会 編集委員	2001年 - 現在
日本犯罪心理学会 会長	2003年 - 2012年
日本心理学諸学会連合 理事	2003年 - 現在
日本犯罪心理学会 常任理事	2003年 - 現在
日本心理学会 副編集長	2003年 - 2005年
アジア社会心理学会 副編集長	2004年 - 2008年
専門分野	
社会心理学	
研究課題	
・ 人間の攻撃性	

- ・ 紛争解決
- ・ 集団における公正

研究キーワード

紛争解決、攻撃性、社会的公正

学術受賞

紛争解決国際学会 1998 年次大会実証研究優秀賞 [紛争解決国際学会]	1998年
平成 10 年度日本心理学会研究奨励賞 [日本心理学会]	1999年
日本社会心理学会学会賞優秀論文賞 [日本社会心理学会]	2003年
平成 17 年度経営行動科学学会奨励研究賞 [経営行動科学学会]	2005年

著書

- 1) 現代児童心理学 6 : 子どもの社会保証 (執筆担当部分) 個人差、教授法、教育的平等. [金子書房, (1981)11 月]
大淵憲一
- 2) 心理テストの使い方. [ぎょうせい, (1983)1 月]
大淵憲一
- 3) 子どもの暴力と登校拒否. [(1983)7 月]
大淵憲一
- 4) 心理学 : 心の内と外. [ぎょうせい, (1986)4 月]
石田雅人・大淵憲一 (編)
- 5) 家族変容の技法を学ぶ. [川島書店, (1987)8 月]
大淵憲一
- 6) 保健分野における心理テストの活用. [ぎょうせい, (1988)6 月]
大淵憲一 (編)
- 7) 学習指導の心理学. [ぎょうせい, (1989)2 月]
大淵憲一・石田雅人 (編)
- 8) 対人行動とパーソナリティ. [北大路書房, (1991)6 月]
大淵憲一
- 9) 教育心理学小辞典 (執筆担当部分) 「自己強化」など 9 項目. [有斐閣, (1991)9 月]
大淵憲一
- 10) 人を傷つける心:攻撃性の社会心理学. [サイエンス社, (1993)4 月]
大淵憲一
- 11) 暴力の行動科学. [至文堂, (1994)3 月]
大淵憲一 (編)
- 12) 社会心理学小辞典 (執筆担当部分) 「カタルシス」など 11 項目. [有斐閣, (1994)10 月]
大淵憲一
- 13) 発達心理学辞典 (執筆担当部分) 「社会的感情」「責任帰属」「暴力」. [ミネルバ書房, (1995)1 月]
大淵憲一
- 14) フェアネスと手続きの社会心理学 : 裁判、政治、組織への応用. [ブレーン出版, (1995)7 月]

菅原郁夫，大淵憲一

- 15) パーソナリティと対人行動. [誠信書房, (1996)11月]
大淵憲一・堀化一也(編)
- 16) 紛争解決の社会心理学：応用社会心理学講座3. [ナカニシヤ出版, (1997)12月]
大淵憲一
- 17) 人間科学研究法ハンドブック. [ナカニシヤ出版, (1998)11月]
高橋順一・渡辺文夫・大淵憲一(編)
- 18) 心理学辞典(執筆担当部分)「攻撃性」など3項目. [有斐閣, (1999)1月]
大淵憲一
- 19) 攻撃と暴力：なぜ人は傷つけるのか. [(2000)7月]
大淵憲一
- 20) 多元社会における正義と公正. [ブレーン出版, (2000)11月]
大淵憲一・菅原郁夫
- 21) 人文社会科学の世紀：東北大学文学部から世界へ(執筆担当部分)社会的行動を捉える心理学：対人行動と社会的認知、人の心を推測する, pp. 197-200. [東北大学出版会, (2003)]
大淵憲一
- 22) 社会心理学：アジアからのアプローチ(執筆担当部分)紛争解決, pp. 163-172. [東京大学出版会, (2003)]
大淵憲一
- 23) 満たされない自己愛：現代人の心理と対人葛藤. [筑摩書房, (2003)4月]
大淵憲一
- 24) 新・心理学の基礎知識(執筆担当部分)「攻撃行動」. [有斐閣, (2004)]
大淵憲一
- 25) アエラムック コミュニケーション学が分かる(執筆担当部分)もめごとにひそむ「尊重」と「自尊心」, pp. 40-43. [朝日新聞社, (2004)]
大淵憲一
- 26) 日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？. [現代図書, (2004)2月]
大淵憲一(編)
- 27) 心理学論の新しいかたち(執筆担当部分)社会的問題解決と心理学：紛争解決に貢献するために, pp. 197-217. [誠信書房, (2005)]
大淵憲一
- 28) 感情心理学パースペクティブズ：感情の豊かな世界. [北大路書房, (2005)2月]
畑山俊輝, 仁平義明, 大淵憲一, 行場次朗, 畑山みさ子
- 29) 現代用語の基礎知識 2006(執筆担当部分)心理学：用語の解説. [自由国民社, (2006)1月]
海保博之、大淵憲一
- 30) 心理学総合事典. [朝倉書店, (2006)6月]
海保博之・楠見孝(監修) 佐藤達哉・岡市廣成・遠藤利彦・大淵憲一・小川俊樹(編集)
- 31) 思春期のころ. [筑摩書房, (2006)7月]
大淵憲一
- 32) 犯罪心理学：犯罪の原因をどこに求めるのか. [培風館, (2006)7月]
大淵憲一

- 33) 謝罪と日本人：社会心理学的考察. [(2007)]
大淵憲一
- 34) Social justice in Japan: Concepts, theories and paradigms. [Trans Pacific Press, (2007)]
Ohbuchi, K.
- 35) 紛争と葛藤の社会心理学. [北大路書房, (2007)]
大淵憲一
- 36) Social Justice in Japan: Concepts, Theories and Paradigms.. [Trans Pacific Press, (2007)2月]
Ken-ichi Ohbuchi
- 37) 心理学の視点 20. [国際文献印刷社, (2007)4月]
阿部恒之・大淵憲一・仁平義明・行場次朗・辻本昌弘
- 38) 心理査定実践ハンドブック(執筆担当部分)レイブ神話尺度 815頁～817頁. [創元社, (2007)9月]
大淵憲一
- 39) コンフリクト. [培風館, (2007)11月]
大淵憲一・熊谷智博
- 40) 応用心理学事典(執筆担当部分)攻撃行動. [丸善, (2008)]
大淵憲一
- 41) 社会階層と不平等. [放送大学教育振興会, (2008)3月]
原純輔, 佐藤嘉倫, 大淵憲一
- 42) 社会心理学事典. [丸善, (2008)6月]
日本社会心理学会(編), 大坊郁夫(編集委員長), 池上知子, 池田謙一, 大淵憲一, 唐沢かおり, 川浦康至, 山口裕幸(編集幹事)
- 43) 「感情教育：臨床・発達・教育・文芸の世界にみる感情と醇化」現代のエスプリ 494号. [至文堂, (2008)9月]
大淵憲一
- 44) 葛藤と紛争の社会心理学：対立する人の心と行動. [北大路書房, (2008)9月]
大淵憲一
- 45) Forgiveness for conflict resolution in Asia: Its compatibility with justice and social control. (執筆担当部分)
Peace psychology in Asia (pp. 221-236). [(2009)]
Ohbuchi, K. , Takada, N.
- 46) 心理学検定公式問題集(執筆担当部分)犯罪・非行 346頁～372頁. [実務教育出版, (2009)4月]
大淵憲一, 越智啓太, 藤野淳子
- 47) 心理学検定基本キーワード(執筆担当部分)犯罪・非行 265頁～290頁. [実務教育出版, (2009)7月]
日本心理学会諸学会連合心理学検定局(編) 大淵憲一, 越智啓太, 藤野淳子
- 48) 社団法人日本心理学会倫理規程. [社団法人日本心理学会, (2009)8月]
日本心理学会倫理委員会
- 49) 親を殺すつづの子どもたち：ありふれた家庭のありふれた期待がもたらす危険. [PHP 研究所, (2009)9月]
大淵憲一
- 50) 謝罪の研究：釈明の心理とはたらき. [東北大学出版会, (2010)]
大淵憲一
- 51) 新版 人を傷つける心：攻撃性の社会心理学. [サイエンス社, (2011)10月]
大淵憲一

- 52) 人間科学研究法ハンドブック、第2版. [ナカニシヤ出版, (2011)11月]
高橋順一, 渡辺文夫, 大淵憲一
- 53) Inequality, discrimination and conflict in Japan: Ways to social justice and cooperation.. [Trans Pacific Press, (2011)11月]
Ohbuchi, K., Asai, N.
- 54) 犯罪心理学. [台北: 雙葉書廊有限公司, (2012)9月]
大淵憲一, 戴伸峰
- 55) 心理学の視点 24. [国際文献印刷社, (2012)9月]
阿部恒之, 大淵憲一, 仁平義明, 行場次朗, 辻本昌弘, 坂井信之
- 56) 紛争と平和構築の社会心理学: 集団間の葛藤とその解決. [北大路書房, (2012)10月]
熊谷智博, 大淵憲一
- 57) APA 心理学大事典. [培風館, (2013)9月]
繁栞算男・四本裕子(監訳), 大淵憲一ほか(訳)
- 58) 青年期発達百科事典(執筆担当部分) グローバリゼーション, 市民参加と政治参加. [丸善出版, (2014)]
大淵憲一
- 59) 青年期発達百科事典. [丸善出版, (2014)1月]
子安増生・二宮克美(監訳), 青年期発達百科事典編集委員会(編訳)
- 60) 失敗しない謝り方. [CCCメディアハウス, (2015)]
大淵憲一
- 61) 心理学総合事典 新装版. [朝倉書店, (2015)]
海保博之・楠見孝(監修), 佐藤達哉・岡市廣成・遠藤利彦・大淵憲一・小川俊樹(編集)
- 62) 紛争と葛藤の心理学: 人はなぜ対立し, どう和解するのか. [サイエンス社, (2015)1月]
大淵憲一
- 63) 紛争・暴力・公正の心理学. [北大路書房, (2016)3月]
大淵 憲一

研究論文

- 1) Projective responses of aggressive schizophrenics.. [Tohoku Psychologica Folia, **35**, (1976), 50-56]
Ohbuchi Ken-ichi
- 2) T A T 攻撃反応をめぐる諸問題. [心理学評論, **20**, (1977), 387-413]
大淵憲一
- 3) 青年期社会化過程に関する追跡的研究: 第7報. [宮城県精神衛生センター紀要, **6**, (1978), 35-45]
大淵憲一・本田仁視ほか
- 4) On consistency of cognitive complexity between different grids.. [Japanese Psychological Research, **20**, (1978), 177-182]
Ohbuchi, Ken-ichi & Horike, K.
- 5) TAT 攻撃反応と刺激価の役割. [大阪教育大学紀要, **27**, (1979), 185-190]
大淵憲一
- 6) 青年期社会化過程に関する追跡的研究: 第8報. [宮城県精神衛生センター紀要, **7**, (1979), 35-44]

本田仁視・大淵憲一ほか

- 7) Perceptual vs. imaginative components of thematic responses.. [Japanese Psychological Research., **21**, (1979), 29-34]
Ohbuchi, Ken-ichi
- 8) Rorschach における認知的発達と病理. [ロールシャッハ研究, **21**, (1979), 17-28]
大淵憲一
- 9) 友好刺激に対する無反応としての Hostility. [心理学研究, **50**, (1979), 249-255]
大淵憲一
- 10) 攻撃的な子どもの理解と指導. [松岡弘 (編), 学校における精神衛生 12 章 (pp.) . 東山書房, (1980)]
大淵憲一
- 11) 適応の問題. [松山安雄・倉智佐一 (編)「現代教育心理学要説」北大路書房, (1980), 187-200]
大淵憲一
- 12) 学習評価の方法. [北尾倫彦・木下繁弥「教科の教授 = 学習の理論と方法」教育大学教科教育講座 2 第一法規, (1980)]
大淵憲一
- 13) 暴力映像が視聴者の行動に及ぼす効果について. [実験社会心理学研究, **20**, (1980), 85-95]
大淵憲一
- 14) Aggressive behavior as a function of attack pattern and hostility.. [Psychologia, **23**, (1980), 146-154]
大淵憲一
- 15) 人格の理解と形成. [田中敏隆 (編)「教育心理学入門」協同出版, (1980), 72-95]
大淵憲一
- 16) Rorschach 反応の複雑さ、図版特性と社会適応性の関係. [ロールシャッハ研究, **23**, (1981), 71-86]
大淵憲一
- 17) 統覚反応の知覚・想像成分を規定する刺激変数と人格変数 : 児童の攻撃行動と適応性について. [大阪教育大学紀要, **30**, (1981), 79-84]
大淵憲一
- 18) A study of attack pattern : Equity or recency?. [Japanese Psychological Research., **23**, (1981), 191-195]
大淵憲一
- 19) 欲求不満に対する原因帰属と攻撃反応. [実験社会心理学研究, **21**, (1982), 175-179]
大淵憲一
- 20) Prior provocation by a victim, endogenous vs. exogenous attribution of attack and retaliation.. [Tohoku Psychologica Folia, **41**, (1982), 1-6]
Ohbuchi ken-ichi
- 21) Negativity bias : It's effects in attribution, hostility, and attack instigated aggression.. [Personality and Social Psychology Bulletin, **8** (1), (1982)]
大淵憲一
- 22) Effects of endogenous and exogenous attributions of attack upon retaliation.. [Psychologia, **25**, (1982), 53-58]
大淵憲一
- 23) 不合理な欲求不満に対する攻撃反応と原因情報. [犯罪心理学研究, **19**, (1982), 11-20]
大淵憲一

- 24) 悪意の推測. [悪意の推測 健康教室, **33**, (1982), 12-13]
大淵憲一
- 25) Rorschach 反応の複雑さに及ぼす年齢と図版特性の効果. [ロールシャッハ研究, **24**, (1982), 75-83]
大森千草・大淵憲一
- 26) 男性精神薄弱者の就労に関する要因の検討. [応用心理学研究, **7**, (1982), 9-21]
菊池武剋, 上野 轟, 大淵憲一, 小玉彰二, 小尾隆一, 渡辺均, 濱上征士
- 27) On the cognitive integration mediating reactions to attack patterns.. [Social Psychology Quarterly., **45**, (1982), 213-218]
Ohbuchi, Ken-ichi
- 28) TV 暴力はどれだけ有害か. [TV 暴力はどれだけ有害か, (1983)]
大淵憲一
- 29) 欲求不満に対する児童の攻撃反応: 原因情報、年齢、性の効果. [大阪教育大学紀要, **32**, (1983), 45-55]
村上雅彦, 大淵憲一
- 30) Source of sex information for Japanese high school students. [大阪教育大学紀要, **32**, (1983), 37-47]
Matsuoka, H. & Ohbuchi, K.
- 31) 女性精神薄弱者の就労に関する要因の検討. [応用心理学研究, **8**, (1983), 13-23]
菊池武剋, 上野轟, 大淵憲一, 小玉彰二, 小尾隆一, 渡辺均, 濱上征士
- 32) 犯罪・非行の人格要因. [石田幸平・武井楨次(編)「犯罪心理学」東海大学出版会, (1984), 183-200]
大淵憲一
- 33) 精神薄弱者の社会的自立に関する基礎的研究(II). [トヨタ財団助成研究報告書, (1984)]
菊池武剋, 大淵憲一ほか
- 34) Retaliation by made rictims : Effects of physical attractivovers and intensity of attack of female attacker.. [Personality and Social Psychology Bulletin., **10** (2), (1984), 216-224]
Ohbuchi, Ken-ichi & Izutu, T.
- 35) 怒りの経験(1): Averill の質問紙による成人と大学生の調査概況. [犯罪心理学研究, **22**, (1984), 15-35]
大淵憲一・小倉左知男
- 36) レイプ神話と性犯罪. [犯罪心理学研究, **23**, (1985), 1-12]
大淵憲一・石毛博
- 37) Attacker's intent and awareness of octicone, impresion management, and retaliation.. [Journal of Experimental Social Psychology, **21** (3), (1985), 33-40]
Ohbuchi, Ken-ichi & Kambara, T.
- 38) 怒りの動機: その構造と要因および反応との関係. [心理学研究, **56**, (1985), 200-207]
大淵憲一・小倉左知男
- 39) 怒りの経験における男女差の検討: 身分、対象の性別及び被験者との関係との交互作用効果. [大阪教育大学紀要, **34**, (1985), 37-47]
大淵憲一
- 40) Power imbalance, its legitimacy, and aggresion.. [Aggressive Behavior, **11** (1), (1986), 33-40]
Ohbuchi, Ken-ichi & Saito, M.
- 41) 児童の行動問題と親子関係. [家族心理学年報, **4**, (1986), 119-138]
大淵憲一・安井智子

- 42) 質問紙による怒りの反応の研究：攻撃反応の要因分析を中心に。[実験社会心理学研究, 25, (1986), 127-136]
大淵憲一
- 43) 個性の展開。[石田雅人・大淵憲一（編）「心の内と外」勁草書房, (1986), 141-177]
北島千津子・大淵憲一
- 44) ひずみの反映。[石田雅人・大淵憲一（編）「心の内と外」勁草書, (1986), 179-209]
山口浩・大淵憲一
- 45) 精神薄弱者における社会生活能力と障害・行動異常および知能の関係。[応用心理学研究, 11, (1986), 1-8]
菊池武克・大淵憲一ホカ
- 46) 攻撃の行動と対人機能。[心理学研究, 58 (2), (1987), 113-124]
大淵憲一
- 47) 心身症と教育。[山田通夫（編）「精神科 MOOK・第 18 号」金原出版, (1987), 104-110]
大淵憲一・松岡弘
- 48) 診断と治療的理解。[佐藤修策・藤土圭三（編）「現代教育臨床心理学要説」北大路書房, (1987), 64-69]
大淵憲一
- 49) 成人の怒りの経験における男女差。[大阪教育大学紀要, 36, (1987), 25-32]
大淵憲一
- 50) 自我と人格の発達。[秦一士・平井誠也（編）「児童心理学要論」北大路書房, (1988), 143-162]
大淵憲一
- 51) Selection of influence strategies in interpersonal conflicts : Effects of sex, interpersonal relations, and goals.. [Tohoku Psychologica Folia, 47, (1988), 63-73]
Ohbuchi, K., Baba, R.
- 52) 攻撃。[安藤延男（編）「人間関係入門」ナカニシヤ出版, (1988), 90-101]
大淵憲一
- 53) Arousal of empathy and aggression.. [Psychologia, 31, (1988), 177-186]
Ohbuchi, Ken-ichi
- 54) 攻撃の対人機能：社会的葛藤における行動戦略。[大坊郁夫・安藤清志・池田謙一（編）「社会心理学・パースペクティブ 1：個人から他者へ」誠信書房, (1989), 312-332]
大淵憲一
- 55) Apology as aggression control : Its role in mediating appraisal of and response to harm.. [Journal of Personality and Social Psychology, 56 (2), (1989), 219-227]
ohbuchi, Ken-ichi, Kameda, M., & Agarie, N.
- 56) 社会的学習。[大淵憲一・石田雅人（編）「学習指導の心理学」ぎょうせい, (1989), 19-33]
大淵憲一
- 57) 攻撃カタルシス：その実像と虚像。[東北大学文学部研究年報., 39, (1989), 120-136]
大淵憲一
- 58) The power strategies of Japanese children in interpersonal conflict: Effects of age, gender, and target. [Journal of Genetic Psychology, 151, (1990), 349-360]
Ohbuchi, K. & Yamamoto, I.
- 59) パターソンの家族変容の技法について。[石川元（編）「現代のエスプリ 272：家族療法と行動療法」, (272), (1990), 68-79]
大淵憲一

- 60) 対人行動 II. [末永俊郎 (編)「行動科学 II」日本放送出版協会, (1990), 122-133]
大淵憲一
- 61) 自己開示に関する研究: 日本人大学生と留学生の比較. [東北大学学生相談所紀要, 17, (1990), 43-59]
豊前貴子・中村雅知・大淵憲一
- 62) 攻撃. [対人行動学ガイド・マップ, (1990)]
大淵憲一
- 63) 性的覚醒の攻撃行動に及ぼす影響. [心理学評論, 32 (2), (1990), 239-255]
大淵憲一
- 64) 暴力的ポルノグラフィー: 女性に対する攻撃, レイプ傾向, レイプ神話, 性的反応との関係. [社会心理学研究, 6 (2), (1991), 119-129]
大淵憲一
- 65) 謝罪に対する児童の反応. [喜多方市豊川小学校・第一小学校に対する調査研究中間報告書, (1991)]
大淵憲一・佐藤公文
- 66) 対人葛藤と日本人. [高橋順一ほか (編)「異文化へのストラテジー」, 川島書店, (1991), 161-180]
大淵憲一
- 67) Effectiveness of power strategies in interpersonal conflict among the Japanese students.. [Journal of Social Psychology, 131 (6), (1991), 791-805]
Ohbuchi, Ken-ichi & Kitanaka, T.
- 68) 日本人とアメリカ人の対人葛藤. [渡辺文夫ほか (編), 地球社会時代をどう捉えるか (1992), ナカニシヤ出版, (1992), 18-37]
大淵憲一
- 69) 暴力犯罪者の理解. [水田恵三 (編)「犯罪・非行の社会心理学」ブレーン出版, (1992), 242-275]
大淵憲一・山入端津由
- 70) きょうだい関係の心理. [岡堂哲雄 (編)「家族心理学入門」培風館, (1992)]
大淵憲一
- 71) 日本人とアメリカ人の対人葛藤: 双方の実体験調査. . [平成 4 年度国際交流基金人物の海外派遣助成対象事業実績報告書, (1992)]
大淵憲一
- 72) 日本人滞米者の市民生活における異文化葛藤. [文化, 57 (1-2), (1993), 119-145]
大淵憲一
- 73) 日本人滞米者の市民生活における異文化葛藤: 対人葛藤の内容分析. [文化, 57/1/2,, (1993), 119-145]
大淵憲一・潮村公弘
- 74) 攻撃性の自己評定法に関する文献的調査. [平成 4 年度厚生省精神・神経疾患研究委託費「治療抵抗性精神障害の成因、病態に関する研究」報告書, (1993)]
大淵憲一・北村俊則
- 75) 攻撃性自己評定法文献資料集. [攻撃性自己評定法文献資料集, 平成 4 年度厚生省精神・神経疾患研究委託費「治療抵抗性精神障害の成因、病態に関する研究」報告書資料, (1993)]
大淵憲一・北村俊則・織田信男・市原眞記
- 76) 攻撃性自己評定項目集. [攻撃性自己評定項目集, 平成 4 年度厚生省精神・神経疾患研究委託費「治療抵抗性精神障害の成因、病態に関する研究」報告書, (1993)]
大淵憲一・北村俊則・織田信男・市原眞記

- 77) Empathy and aggression : Effects of self-disclosure and feaful appeal.. [Journal of Social Psychology, **133** (2), (1993), 243-253]
Ohbuchi, Ken-ichi, Ohno, T., & Mukai, H.
- 78) 攻撃. [今城周造 (編)「社会心理学」北大路書房, (1993), 84-97]
大淵憲一
- 79) 自己呈示. [今城周造 (編)「社会心理学」北大路書房, (1993), 24-36]
大淵憲一
- 80) 対人葛藤. [今城周造 (編)「社会心理学」北大路書房, (1993), 98-110]
大淵憲一
- 81) アメリカ日系企業における対人葛藤 : その文化的諸相. [東北大学文学部研究年報, **43**, (1993), 1-43]
大淵憲一
- 82) Multiple goals and resolution strategies in interpersonal conflicts.. [Tohoku Psychologica Folia, **52**, (1993), 20-27]
Fukushima, O. & Ohbuchi Ken-ichi
- 83) 日本人とアメリカ人の対人葛藤. [日本人とアメリカ人の対人葛藤,1991 年度後期松下財団研究助成・研究報告書, (1993)]
大淵憲一
- 84) アメリカ日系企業における対人葛藤:その文化的諸相. [当方大学文学部研究年報, **43**, (1994), 1-43]
大淵憲一
- 85) アメリカにおける日本人留学生の対人葛藤 : 異文化の葛藤経験の内容分析. [文化, **58**, (1994), 31-56]
潮村公弘・大淵憲一
- 86) Children's reactions to mitigating accounts : Apologies, excuses, and intentionality of Harms.. [Journal of Social Psychology, **134**, (1994), 5-17]
Ohbuchi, Ken-ichi, & Sato, K.
- 87) Effects of violent pornography upon viewer's rape myth beliefs : A study with Japanese males.. [Psychology, Crime, and Law, **1**, (1994), 71-81]
Ohbuchi Ken-ichi, Ikeda, T., & Takeuchi, G.
- 88) 攻撃性自記式評定票の作成. [平成 5 年度厚生省精神・神経疾患研究委託費「治療抵抗性精神障害の成因、病態に関する研究」報告書, (1994), 49-53]
大淵憲一・北村俊則・中山温信・丸田敏正
- 89) Cultural styles of conflict management in Japanese and Americans : Passivity, covertness, and effectiveness of strategies. [Journal of Applied Social Psychology., **24**, (1994), 1345-1366]
Ohbuchi, Ken-ichi &Takahashi, Y.
- 90) 暴力犯罪者の理解. [水田恵三 (編)「犯罪・非行の社会心理学」, (1994), 242-275]
大淵憲一、山之端津由
- 91) 攻撃性の自己評定法:文献展望. [精神科診断学, **20**, (1994), 443-455]
大淵憲一・北村俊則・織田信男・市原眞記
- 92) 攻撃性自記式評定票 (SRAS) の因子分析. [攻撃性自記式評定票 (SRAS) の因子分析, 平成 6 年度厚生省精神・神経疾患研究委託費「治療抵抗性精神障害の成因、病態に関する研究」報告書, (1995), 27-32]
大淵憲一・北村俊則
- 93) パーソナリティ. [白樫三四郎 (編)「現代心理学への招待」ミネルヴァ書房, (1995), 157-182]
大淵憲一

- 94) 人格の心理. [田中敏孝(編)「学生・教師のための教育心理学」, (1995), 117-138]
織田信男・大淵憲一
- 95) 日米間紛争における解決手続きの文化比較的研究. [日米間紛争における解決手続きの文化比較的研究, 村田
学術振興財団平成5年度助成研究報告書, (1995)]
大淵憲一
- 96) 葛藤における多目標と解決方略の比較文化的研究:同文化葛藤と異文化葛藤. [東北大学文学部研究年報, 45,
(1995), 187-202]
大淵憲一・菅原郁夫・Tyler, T.,& Lind, E.A.
- 97) Roles in conflict resolution and justice as motivation : disputant and third party.. [Tohoku Psychologica Folia,
54, (1995), 1-5]
Imazai, K., & Ohbuchi Kenichi
- 98) Reciprocity and cognitive bias in reactions to interpersonal conflicts.. [Tohoku Psychologica Folia, 54, (1995),
53-60]
Ohbuchi Ken-ichi, Fukushima, O., & Fukuno, M.
- 99) 社会的行動. [丸山欣也(編)「基礎心理学通論」福山出版, (1996), 214-218]
大淵憲一
- 100) A cross-cultural study of preference of accounts : Relationship closeness, harm severity, and motives of account-
making.. [Journal of Applied Social Psychology, 26, (1996), 913-934]
Itoi, R., Ohbuchi Ken-ichi & Fukuno, M.
- 101) Conflict with outsiders : Disputing within and across cultural boundaries. [American Bar Foundation Working
Paper Series, (9503), (1996)]
Tyler, T., Lind, E.A., Ohbuchi, Ken-ichi, Sugawara, I., & Huo, Y.J.
- 102) 精神障害における暴力リスク因子 I:属性、生活史、状況因子の文献展望.. [東北大学文学部研究年報, 46, (1996),
258-280]
大淵憲一・佐藤励志・北村俊則
- 103) Motivational perspectives of aggression and the two-process model.. [Tohoku Psychologica Folia, 55, (1996),
80-91]
Ohbuchi Ken-ichi
- 104) Antecedents and effects of multiple goals in conflict resolution.. [International Journal of Conflict Management.,
7, (1996), 191-208]
Fukushima, O. & Ohbuchi Ken-ichi
- 105) Mitigation of interpersonal conflicts : Politeness and time pressure. [Personality and Social Psychology
Bulletin, 22, (1996), 1035-1042]
Ohbuchi Ken-ichi, Chiba, S., & Fukushima, O.
- 106) 攻撃性と対人葛藤. [大淵憲一・堀毛一也(編)「パーソナリティと対人行動」, (1996), 101-122]
大淵憲一
- 107) 対人行動とパーソナリティ. [大淵憲一・堀毛一也(編)「パーソナリティと対人行動」 誠信書房, (1996),
1-28]
大淵憲一・堀毛一也
- 108) Multiple goals and tactical behaviors in social conflicts.. [Journal of Applied Social Psychology, 27 (24),
(1997), 2177-2199]
OHBUCHI Ken-ichi

- 109) Personality and interpersonal conflict : Aggressiveness, self-monitoring, and situational variables.. [International Journal of Conflict Management, **8** (2), (1997), 99-113]
Ohbuchi, Ken-ichi & Fukushima, O.
- 110) 対人葛藤における要求受諾と多目標. [岩手県立盛岡短期大学研究報告, **50** (5), (1997), 1-8]
福島治・大淵憲一・福野光輝
- 111) 精神障害における暴力リスク因子 II:臨床因子の展望と暴力予測の問題. [東北大学文学部研究年報, **47**, (1997), 215-232]
大淵憲一・佐藤励志・北村俊則
- 112) Goals and tactics in within-and between-culture conflicts.. [Tohoku Psychologica Folia, **56**, (1997), 1-13]
Ohbuchi Ken-ichi, Imazai, K., Sugawara, I., Tyler, T. & Lind, E.A.
- 113) 葛藤解決における多目標:その規定因と方略選択に対する効果.. [心理学研究, **68** (3), (1997), 155-16]
大淵憲一・福島治
- 114) 交渉時の認知的バイアス:固定資源知覚と公正バイアスの規定因の検討. [社会心理学研究, **13** (1), (1997), 43-52]
福野光輝・大淵憲一
- 115) 紛争解決の方略. [大淵憲一(編)「応用心理学講座3:紛争解決」ナカニシヤ出版, (1997), 32-58]
福島治・大淵憲一
- 116) 交渉における認知的バイアス. [大淵憲一(編)「応用心理学講座3:紛争解決」ナカニシヤ出版, (1997), 119-141]
福野光輝・大淵憲一
- 117) 紛争解決の文化的スタイル. [大淵憲一(編)「応用心理学講座3:紛争解決」ナカニシヤ出版, (1997), 343-367]
大淵憲一
- 118) Multiple goals and tactical behaviors in social conflicts. [Journal of Applied Social Psychology, (1997)]
Ohbuchi, Ken-ichi & Tedeschi, J.
- 119) 紛争解決の社会心理学. [応用心理学講座3:紛争解決, (1997)]
大淵憲一
- 120) 組織シチズンシップ行動とその規定要因についての研究. [経営行動科学, **12**, (1998), 125-144]
大淵 憲一
- 121) Acceptance and rejection of responsibility by account making: Instrumental and non-instrumental concerns, and mitigating circumstances.. [Tohoku Psychologica Folia, **57**, (1998), 46-57]
Takahashi, A. & Ohbuchi, K.
- 122) 対人葛藤の原因と対人関係:比較文化的分析. [文化, **61** (3-4), (1998), 66-80]
大淵憲一・小嶋かおり
- 123) Conflict with outsiders : disputing within and across cultural boundaries.. [Personality and Social Psychology Bulletin, **24** (2), (1998), 137-146]
Tyler, T., Lind, A., Ohbuchi Ken-ichi, Sugawara, I., & Huo, Y.J.
- 124) 日本人の社会的行動4:紛争解決. [山口勲(編)「社会心理学:アジア的視点から」放送大学教育振興会, (1998), 101-110]
大淵憲一
- 125) 人事制度変革期の日本企業の従業員は組織へ自発的に行動するか:組織シチズンシップ行動とその規定要因についての研究. [人事制度変革期の日本企業の従業員は組織へ自発的に行動するか:組織シチズンシップ行動とその規定要因についての研究, 浜松大学総合研究所特別研究助成研究成果報告書, (1998)]
田中堅一郎・田部井潤・大淵憲一・林洋一郎

- 126) Acceptance and rejection of responsibility by account making : Instrumental and non-instrumental concerns, and mitigating circumstances.. [Tohoku Psychologica Folia, **57**, (1998), 1-13]
Takahashi, A. & Ohbuchi Ken-ichi
- 127) Conflict management in Japanese organizations: Fairness or collectivistic values?. [Tohoku Psychologica Folia, **57**, (1998), 1-13]
Ohbuchi Ken-ichi, Hayashi, Y., & Imazai, K.
- 128) Effectiveness of accounts as victim's reactions to them : Severity of harms, closeness of relationships, and culture. [Asian Journal of Social Psychology, **1** (2), (1998), 167-178]
Fukuno, M. & Ohbuchi, K.
- 129) Conflict management in Japan. [K. Leung & D. Tjosvold (編), "Conflict Management in the Aian Pacific" Wiley & Sons, (1998), 49-72]
Ohbuchi, Ken-ichi
- 130) Utility and fairness concerns in policy evaluation among Japanese people.. [Japanese Psychological Research, **40** (4), (1998), 183-197]
Imazai, K. & Ohbuchi Ken-ichi
- 131) 手続き的公正を越えて：社会集団の理論へ。[田中堅一郎(編)「公平と公正の心理学」ナカニシヤ出版, (1998), 83-103]
大淵憲一
- 132) 心理学実験研究：論文の書き方。[高橋順一・渡部文夫・大淵憲一(編)「人間科学研究法ハンドブック」, (1998), 227-237]
大淵憲一
- 133) 質問紙調査法。[高橋順一・渡部文夫・大淵憲一(編)「人間科学研究法ハンドブック」, (1998), 149-170]
今在慶一郎、大淵憲一
- 134) 実験法。[高橋順一・渡部文夫・大淵憲一(編)「人間科学研究法ハンドブック」, (1998), 171-193]
福野光輝、大淵憲一
- 135) Cultural values in conflict management : Goal orientation, goal attainment, and tactical decision.. [Journal of Cross-Cultural Psychology, **30** (1), (1999), 51-71]
Ohbuchi Ken-ichi & Fukushima, O., & Tedeschi, J.
- 136) 政治的決定に関する公正知覚の社会心理学的考察:消費税引き上げに対する国民の評価。[文化, **62** (3-4), (1999), 113-133]
今在慶一郎・大淵憲一・菅原郁夫
- 137) 機能的攻撃性尺度 (FAS) 作成の試み・暴力犯罪:非行との関係。[犯罪心理学研究, **37** (2), (1999), 1-14]
大淵憲一・山之端津由・藤原則隆
- 138) 日本人の公正観:公正は個人と社会を結ぶ絆か?. [平成 8・9・10 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)、課題番号 08451023) 研究成果報告書, (1999)]
大淵憲一
- 139) 紛争解決に関する日米間の比較研究。[平成 8・9・10 年度科学研究費補助金 (国際学術研究、課題番号 0804402) 研究成果報告書, (1999)]
大淵憲一
- 140) 子供の葛藤解決の指導。[行吉哉女・田中敏隆(編)「心理学者が語る心の教育」実務教育出版, (1999), 56-59]
大淵憲一
- 141) 怒りと社会的認知:自己利益の侵害と規範逸脱の知覚。[東北大学文学部研究年報, **49**, (1999), 213-224]
大淵憲一

- 142) 対人葛藤における方略選択:動機的、認知的要因. [行動科学, 38 (1), (1999), 19-28]
大淵憲一・小嶋かおり
- 143) Nationality, individualism-collectivism, and power distance in conflict management.. [Tohoku Psychologica Folia, 58, (1999), 36-49]
Ohbuchi Ken-ichi, Sato, S., & Tedeschi, J.
- 144) Conflict processes on computer-mediated communication.. [Tohoku Psychologica Folia, 58, (1999), 50-55]
Sasaki, M. & Ohbuchi Ken-ichi
- 145) A social psychological analysis of accounts toward a universal model of giving and receiving account. [N.Sugimoto(Ed.), Japanese apology across disciplines. Commack, NY; Nova Science Publishers., (1999), 9-46]
Ohbuchi, Ken-ichi
- 146) 訴訟当事者にとっての手続き的公正の意義. [千葉大学法学論集, 14 (2), (1999), 176-202]
菅原郁夫・今在慶一郎・大淵憲一
- 147) 国民による国に対する公正感とコミットメントおよびその機能評価. [心理学研究, 70, (1999), 310-318]
大淵憲一・今在慶一郎
- 148) 日本人の謝罪傾向の起源: 比較文化的発達研究. [平成8年度稲盛財団助成金研究報告書, (1999)]
大淵憲一
- 149) 従業員の組織に対する公正知覚と組織志向:経済的交換モデルと集団価値モデル. [産業・組織心理学研究, 12, (1999), 99-110]
林洋一郎・大淵憲一
- 150) メディア交渉における離脱可能性と修正可能性の効果に関する実験的研究. [CmCC (Computer mediated Communication and Community) 研究会共同研究報告書「コンピュータを介したコミュニケーションが人の知識・記憶に与える影響の研究」, (2000), 25-40]
大淵憲一, 八田武俊
- 151) 電子コミュニケーションによる葛藤解決 2. [電子通信普及財団研究調査報告書, 15, (2000), 241-245]
大淵憲一・佐々木美加
- 152) ひとと争う. [小林裕・飛田操(編)「教科書社会心理学」北大路書房, (2000), 75-90]
大淵憲一・小嶋かおり・福野光輝
- 153) 社会心理学を学ぶ. [小林裕・飛田操(編)「教科書社会心理学」, (2000), 264-283]
大淵憲一、佐藤達哉
- 154) 怒りの比較文化研究: 規範逸脱の次元と怒り感情及び罰願望に対するその影響. [東北大学文学部研究年報, 50, (2000), 172-184]
大淵憲一
- 155) Constructive conflict management in organizations: Resolution strategies, goal achievement, and psychological changes after conflicts.. [Tohoku Psychologica Folia, 59, (2000), 1-10]
Ohbuchi Ken-ichi, Suzuki, M., & Hayashi, Y.
- 156) Motivational analysis of avoidance in organizational conflicts: Japanese business employees' concerns, strategies, and organizational attitudes.. [Psychologia., 43 (3), (2000), 211-220]
Ohbuchi Ken-ichi, Hayashi, Y.& Imazai, K.
- 157) アメリカ企業組織における日本人従業員の葛藤解決と手続き的公正. [産業・組織心理学研究, 13 (1), (2000), 3-10]
今在慶一郎・大淵憲一・林洋一郎

- 158) 政策評価における認知過程の社会心理学的研究. [旭硝子財団研究助成成果報告 2000, (2000), 109-110]
大淵憲一
- 159) 社会の中の社会心理学. [山岸俊男(編)「社会心理学キーワード」, (2001), 197-216]
大淵憲一
- 160) A cross-cultural examination of the effects of apology and perspective taking on forgiveness.. [Journal of Language and Social Psychology, **20** (1, 2), (2001), 144-166]
Takaku, S., Weiner, B., & Ohbuchi Ken-ichi
- 161) 人の移動に伴う文化変容と価値観の変化: 留学生の調査から. [東北大学大学院文学研究科平成 12 年度東北大学教育研究共同プロジェクト成果報告書, (2001), 107-109]
大淵憲一・鈴木淳子
- 162) 攻撃行動. [土田昭司(編)「対人行動の社会心理学: 人と人との間の心と行動」北大路書房, (2001), 82-91]
大淵憲一
- 163) 最終提案交渉における受け手の拒否動機: 同一性保護の観点から. [社会心理学研究, **16** (3), (2001), 184-192]
福野光輝・大淵憲一
- 164) Culture and deception in business negotiations: A multilevel analysis.. [Journal of Cross-Cultural Management, **1** (1), (2001), 73-90]
Triandis, H. C., Carnevale, P., Gelfand, M., Robert, C., Wasti, S. A., Probst, T., Kashima, E. S., Dragonas, T., Chan, D., Chen, X. P., Kim, U., de Dreu, C., van de Vliert, E., Iwao, S., Ohbuchi Ken-ichi, & Schmitz, P
- 165) 多水準の公正評価と国に対する態度. [東北大学文学研究科研究年報, **51**, (2001), 150-172]
大淵憲一
- 166) Theoretical considerations on assessment for psychiatric occupational therapy: Factors of social adaptation and assessment of them.. [Tohoku Psychologica Folia, **60**, (2001), 20-28]
Atsumi, E., Ohbuchi Ken-ichi
- 167) Escalation of conflict and forgiveness: A social psychological model of forgiveness.. [Tohoku Psychologica Folia, **60**, (2001), 61-71]
Ohbuchi Ken-ichi & Takada, N.
- 168) The effect of collective self-esteem and group membership on aggression of "third-party victims." [Tohoku Psychologica Folia, **60**, (2001), 35-44]
Kumagai, T. & Ohbuchi, Ken-ichi
- 169) Conflict management and organizational attitudes among Japanese: Individual and group goals and justice.. [Asian Journal of Social Psychology, **4** (2), (2001), 93-101]
Ohbuchi Ken-ichi, Suzuki, M., & Hayashi, Y.
- 170) 攻撃性と暴力. [アエムラック「人間科学が分かる」朝日新聞社, (2001), 78-82]
大淵憲一
- 171) Cultural influences on cognitive representations of conflict: Interpretations of conflict episodes in the United States and Japan. [Journal of Applied Psychology, **86** (6), (2001), 1059-1074]
Gelfand, M. J., Nishii, L. H., Holcombe, K. M., Dyer, N., Ohbuchi Ken-ichi and Fukuno, M.
- 172) 国の不変信念と社会的公正感: デモグラフィック変数、国に対する態度、及び抗議反応との関係. [応用心理学研究, **28** (2), (2002), 112-123]
大淵憲一、福野光輝、今在慶一郎
- 173) 教育価値尺度の開発: 異文化間葛藤の研究に向けて. [文化, **66** (1), (2002), 131-146]
加賀美常美代, 大淵憲一

- 174) 人間関係と攻撃性. [島井哲志・山崎勝之(編)「攻撃性の行動科学：健康編」ナカニシヤ出版, (2002), 17-34]
大淵憲一
- 175) Conflict resolution and procedural fairness in Japanese work organizations.. [Japanese Psychological Research, 44 (2), (2002), 107-112]
Imazai, K. & Ohbuchi Ken-ichi
- 176) 組織コミットメントの規定要因に関する研究：公正と報酬知覚の構造とその効果について.. [産業・組織心理学研究, 16 (1), (2002), 59-70]
林 洋一郎・大淵憲一・田中堅一郎
- 177) Motives of and responses to anger in conflict situations: A cross-cultural analysis. [Tohoku Psychologica Folia, 61, (2002), 11-21]
Ohbuchi Ken-ichi, Kumagai, T., & Atsumi, E.
- 178) Changes in social cognition and social behavior after the September 11th affair: An interpretation from Terror management theory. [Tohoku Psychologica Folia, 61, (2002), 22-28]
Kumagai, T. & Ohbuchi Ken-ichi
- 179) A computer simulation study of ADR for consumer disputes: Effects of politeness and voice in perceptions of procedural fairness and satisfaction in dispute mediation. [Tohoku Psychologica Folia, 61, (2002), 62-73]
Imazai Keiko, Ohbuchi Ken-ichi & Imazai Kei-ichiro
- 180) 目標達成の観点から見た組織内葛藤解決方略の効果. [東北大学文学研究科研究年報, 52, (2002), 89-102]
大淵憲一・渥美恵美
- 181) 電子メールにおける非言語メッセージの欠如はネガティブな相互作用を促進するか? . [応用心理学研究, 28, (2002), 17-26]
佐々木美加、大淵憲一
- 182) 紛争解決の心理学：ADR のための考察. [JCA ジャーナル, 49 (9), (2002), 26-33]
大淵憲一、今在景子
- 183) コンフリクト・マネジメントと寛容性：紛争の激化と寛容性. [上智大学教育学論集, 37, (2002), 63-73]
大淵憲一
- 184) 対人葛藤の解決スキル. [教育と医学, 51 (10), (2003), 19-27]
大淵憲一
- 185) 葛藤の争点とその解決：手続き的公正のモデレーター効果に注目して. [平成 11・12・13・14 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)) 研究成果報告書, (2003), 163-180]
林洋一郎・大淵憲一
- 186) 精神科作業療法の評価法に関する実態調査. [作業療法ジャーナル, 37 (2), (2003), 160-166]
渥美恵美・大淵憲一
- 187) 精神科作業療法における評価の構造に関する検討. [作業療法, 22 (1), (2003), 41-52]
渥美恵美・大淵憲一
- 188) 青年期の対人的怒り感情：男子高校生の怒り対象、動機、人格要因に関する予備的分析. [厚生労働科学研究費補助金 (傷害保険福祉総合研究事業) 平成 14 年度総括・分担研究報告書「人間関係の希薄化がもたらした精神保健問題に関する研究」, (2003), 34-39]
大淵憲一・北村俊則 (編)
- 189) 公正の絆理論の検討：政策、制度、組織評価における公正. [平成 11—14 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 研究課題番号 11410028) 研究成果報告書, (2003)]
大淵憲一

- 190) 社会的公正と国に対する態度の絆仮説：多水準公正評価. [社会心理学研究, 18, (2003), 204-212]
大淵憲一・福野光輝
- 191) 対人行動と社会的認知、人の心を推測する. [原研二・鈴木岩弓・金子義明・岩崎一郎 (編)「人文社会科学の
新世紀：東北大学文学部から世界へ」東北大学出版会, (2003), 197-200]
大淵憲一
- 192) 紛争解決. [山口勸 (編)「社会心理学：アジアからのアプローチ」東京大学出版会, (2003), 163-172]
大淵憲一
- 193) An experimental study of electronic negotiation: Content analysis of verbal interactions focusing on the effects
of correctability and exitability. [Psychologia, 46 (2), (2003), 129-139]
hatta, Taketoshi & Ohbuchi, Ken-ichi
- 194) Strategicness/authenticity of accounts and instrumental/non-instrumental variables involved: A cross-cultural.
[Tohoku Psychologica Folia, 62, (2003), 57-74]
Ohbuchi, K., Suzuki, M., & Takaku, S .
- 195) Effects of group membership and uncertainty on third party aggression. [Tohoku Psychologica Folia, 63,
(2003)]
Kumagai, T. & Ohbuchi Ken-ichi
- 196) The effect of mortality salience and collaboration experience on aggression of “ third-party victims.. [Tohoku
Psychologica Folia, 62, (2003), 109-119]
Kumagai, T. & Ohbuchi, K.
- 197) Procedural fairness in ultimatum bargaining: Effects of interactional fairness and formal procedure on
respondents' reactions to unequal offers. [Japanese Psychological Research, 45 (3), (2003), 152-161]
Fukuno, Mitsuteru & Ohbuchi, Ken-ichi
- 198) Three dimentions of conflict issues and their effects on resolution strategies in organizational settings.
[International Journal of Conflict Management, 14 (1), (2003), 61-73]
Ohbuchi, Ken-ichi & Suzuki, M.
- 199) 第三者介入による消費者問題の解決：手続き的公正に関する実験的研究. [社会心理学研究, 19 (2), (2003),
144-154]
今在景子・大淵憲一・今在慶一郎
- 200) CMC の相互作用過程：言語メッセージの解釈と対決的反応. [対人社会心理学研究, 4, (2004), 31-39]
佐々木美加・八田武俊・大淵憲一
- 201) 日本語教育場面における日本人教師と中国および韓国人学生の葛藤の原因帰属と解決方略. [心理学研究, 74
(6), (2004), 531-539]
加賀美常美代・大淵憲一
- 202) もめごとにひそむ「尊重」と「自重」. [アエムラック「コミュニケーション学が分かる」朝日新聞社, (2004),
40-43]
大淵憲一
- 203) 公正の社会心理学：絆としての公正. [大淵憲一 (編)「日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？」.
現代図書, (2004), 3-30]
大淵憲一
- 204) 国に対する態度と社会的公正感. [大淵憲一 (編)「日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？」. 現代
図書, (2004), 79-98]
大淵憲一, 今在慶一郎

- 205) 多水準の公正評価と国に対する態度. [大淵憲一 (編)「日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？」. 現代図書, (2004), 127-163]
大淵憲一
- 206) 国に対する不変信念と社会的公正. [大淵憲一 (編)「日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？」. 現代図書, (2004), 165-197]
大淵憲一
- 207) 紛争解決の法理論と公正研究. [大淵憲一 (編)「日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？」. 現代図書, (2004), 201-229]
菅原郁夫, 大淵憲一
- 208) 民事訴訟利用者の反応と公正感. [大淵憲一 (編)「日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？」. 現代図書, (2004), 231-264]
大淵憲一
- 209) 日本人の組織内葛藤と公正. [大淵憲一 (編)「日本人の公正観：公正は個人と社会を結ぶ絆か？」. 現代図書, (2004), 289-300]
大淵憲一
- 210) 人間関係の希薄化がもたらした精神保健問題に関する研究. [厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業) 平成 13—15 年度総合研究報告書, (2004)]
北村俊則・吉川武彦・伊藤順一郎・大淵憲一
- 211) 集団の社会心理学と公正. [法と心理, **3** (1), (2004), 43-53]
大淵憲一
- 212) Conglomerated Contending by Japanese Subordinates.. [International Journal of Conflict Management, **15** (2), (2004), 192-207]
Van de Vliert, Evert; Ohbuchi, Ken-ichi; Van Rossum, Bas; Hayashi, Yoichiro; Van der Vegt, Gerben S.
- 213) Effects of group membership and uncertainty on third party aggression.. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2004), 8-14]
Kumagai, T. & Ohbuchi, K.
- 214) The effects of exitability by the alternative negotiation on the electric negotiation: Content analysis of negotiation behavior.. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2004), 25-33]
Hatta, T. & Ohbuchi, K.
- 215) Psychiatric patients' self-efficacy and their performance and adaptive functions in occupational therapy.. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2004), 34-43]
Atsumi, E., Ohbuchi, K., Iwatani, A., & Abe, N.
- 216) Influence of group process in juvenile delinquency: An interview study with inmates of a reformatory home.. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2004), 61-72]
Nakagawa, T., Kikuchi, T., & Ohbuchi, K.
- 217) Why do we forgive offenders? Egocentric, altruistic, and normative motives for interpersonal forgiveness.. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2004), 95-102]
Takada, N. & Ohbuchi, K.
- 218) The effects of the number of mediators in perception of procedural fairness in ADR.. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2004), 119-1127]
Imazai, K., Ohbuchi, K., & Imazai, K.
- 219) Causal perception of juvenile delinquency and approval attitudes toward punitive amendments of the Juvenile Law.. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2004), 112-118]
Tai, S-H. & Ohbuchi, K.

- 220) 青少年犯罪の原因に対する一般市民の認知. [犯罪心理学研究, **42**, (2004), 13-34]
戴伸峰, 大淵憲一
- 221) Anger, blame, and dimensions of perceived norm violation: Culture, gender, and relationships. [Journal of Applied Social Psychology, **34** (8), (2004), 1587-1603]
Ohbuchi, Ken-ichi, Tamura, T., Quigley, B.M., Tedeschi, J.T., Madi, N., Bond, M.H., & Mummendey, A.
- 222) 社会的排斥と不適応：社会心理学的アプローチ．． [東北大学文学研究科研究年報, **54**, (2004), 129-144]
大淵憲一
- 223) 精神科 OT における適応性評価尺度の開発：ASPOT の信頼性の検討．． [文化, **68** (3、4), (2004), 57-66]
渥美恵美, 大淵憲一
- 224) 精神科 OT 評価用新尺度 ASPOT の妥当性検討．． [リハビリテーション科学(東北文化学園大学リハビリテーション学科紀要), **1** (31), (2004), 3-12]
渥美恵美, 大淵憲一
- 225) Effects and motives of forgiveness in interpersonal conflicts: True and hollow forgiveness.. [Annual Report 2004 of the Center for the Study of Social Stratification and Inequality (the 21th Century Center for Excellence Program, Tohoku University),, (2004), 98-112]
Ohbuchi, K., Takada, N.
- 226) Taiwan citizen's causal perception toward juvenile delinquency. [Journal of Criminology, **8** (2), (2005), 45-51]
Tai, S-F., Ohbuchi, K., & Huang, F. F-Y.
- 227) 公共事業政策に対する公共評価の心理学的構造：政府に対する一般的信頼と社会的公正感. [実験社会心理学研究, **45** (1), (2005), 65-76]
大淵憲一
- 228) 政策の公共受容と社会的合意形成：社会心理学的アプローチの可能性. [実験社会心理学研究, **45** (1), (2005), 25-26]
大淵憲一
- 229) A cross-cultural examination of perceptions of apology, responsibility, and justice: The U. S. S. Greenville Accident and the E-P3 Accident. [Tohoku Psychologia Folia, **64**, (2005), 39-57]
Takaku, S., Lee, Y-T., Weiner, B., & Ohbuchi, K.
- 230) Social exclusion and the self-defeating behavior among Japanese. [Tohoku Psychologia Folia, **64**, (2005), 14-20]
Oikawa, H., Kumagai, T., & Ohbuchi, K.
- 231) The effects of visual cues on negotiation. [Tohoku Psychologia Folia, **64**, (2005), 7-13]
Hatta, T., Oikawa, Y., & Ohbuchi, K.
- 232) Effects of group rewards on group identification among delinquent and non-delinquent adolescents. [Tohoku Psychologia Folia, **64**, (2005)]
Nakagawa, T., Nakamoto, N., Yamanoha, T., Ohbuchi, K.
- 233) 対人葛藤における消極的解決方略：新しい対人葛藤スタイル尺度の開発に向けて. [東北大学文学研究科年報, **55**, (2005), 78-92]
大淵憲一
- 234) 反芻の心理：暴力犯罪者の思考パターン. [更生保護, **56** (5), (2005), 6-12]
大淵憲一
- 235) 社会適応機能評定における評定者バイアスの探索的検討. [リハビリテーション科学, **2** (1), (2005), 39-49]
渥美恵美・大淵憲一・阿部哲敬・岩谷あつ子

- 236) Effects and motives of forgiveness in interpersonal conflicts: True and hollow forgiveness. [Annual Report 2004 of the Center for the Study of Social Stratification and Inequality (the 21th Century Center for Excellence Program, Tohoku University), (2005), 98-112]
Ohbuchi, K. & Takada, N.
- 237) The effects of exitability by the alternative negotiation on the electronic negotiation: Content analysis of negotiation behavior. [Tohoku Psychologica Folia, **63**, (2005), 25-33]
Hatta, T., & Ohbuchi, K.
- 238) 感情と人間関係の制御. [畑山俊輝・仁平義明・大淵憲一・行場次朗・畑山みさ子(編)「感情心理学パースペクティブズ:感情の豊かな世界」.北大路書房,(2005), 2-10]
大淵憲一
- 239) 電子メディア交渉における離脱可能性と事前相互作用に関する実験的研究. [経営行動科学, **18**, (2005), 45-51]
八田武俊, 大淵憲一
- 240) 非当事者攻撃に対する不公正と集団顕現性の効果. [文化, **68** (3/4), (2005)]
熊谷智博・大淵憲一
- 241) 教育価値観に関する異文化間比較:短縮版尺度開発と包括次元の探索. [文化, **69** (3-4), (2005), 96-111]
加賀美常美代・大淵憲一
- 242) 社会的問題解決と心理学:紛争解決に貢献するために. [下山晴彦(編著) 心理学論の新しいかたち.誠信書房,(2005), 197-217]
大淵憲一
- 243) 社会的問題解決と心理学:紛争解決に貢献するために. [下山晴彦(編著)「心理学論の新しいかたち」,(2005), 197-217]
大淵憲一
- 244) Procedural Justice and the Assessment of Civil Justice in Japan.. [Law and Society Review, **39** (4), (2005), 875-891]
Ohbuchi, K., Sugawara, I., Teshigahara, K., & Imazai, K.
- 245) 非人間的ラベリングが攻撃行動に及ぼす効果:格闘TVゲームを用いた実験的検討. [社会心理学研究, **22** (2), (2006), 165-171]
田村達・大淵憲一
- 246) 対人葛藤における多目標:個人資源への関心、評価的観衆、及び丁寧さが解決方略の言語反応に及ぼす効果. [社会心理学研究, **22** (2), (2006), 103-115]
福島治・大淵憲一・小嶋かおり
- 247) Third party aggression: Effects of cooperation and group membership. [Psychologia, **49**, (2006), 152-161]
Kumagai, T. & Ohbuchi, K.
- 248) まちづくりの計画過程に対する参加行動の規定因とその地域差. [土木計画学研究・論文集, (2006)]
引地博之・青木俊明・大淵憲一
- 249) 日本における性犯罪対策の新しい試み. [東北大学文学研究科年報, **56**, (2006)]
大淵憲一
- 250) Account selection in inter-group conflict: A cross-cultural consideration. [Tohoku Psychologica Folia, **65**, (2006), 86-94]
Ohbuchi, K., Takaku, S., & Shirakane, S.
- 251) Public evaluation and acceptance of public enterprise policies in Japan: Evaluative clusters, political parties, and residential areas. [CSSI Annual Report 2005, (2006), 84-100]
Ohbuchi, K.

- 252) いじめにおける「からかい」: その功罪. [児童心理, 843, (2006), 23-28]
大淵憲一
- 253) 弁明選択の心理的および状況的規定因と文化的価値: 何が謝罪を困難にするか? . [文化, 70, (2006), 364-372]
大淵憲一, 渥美恵美
- 254) 作業療法臨床実習のための社会的交流技能事前教育プログラムに関する研究(第1報): 学生の持つ交流技能の分析. [東北文化学園大学リハビリテーション学科紀要, 3, (2006), 3-11]
渥美恵美, 大淵憲一, 稲垣成昭, 勅使河原麻衣
- 255) Public evaluation and acceptance of public enterprise policies in Japan: Evaluative clusters, political parties, and residential areas. [CSSI Annual Report 2005, (2006), 84-100]
Ohbuchi, K
- 256) 社会適応機能評定における評定者バイアスの探索的検討. [リハビリテーション科学(東北文化学園大学リハビリテーション学科紀要), 2 (1), (2006), 39-49]
渥美恵美, 大淵憲一, 阿部哲敬, 岩谷あつ子
- 257) 精神科作業療法のための適応機能評価尺度の開発. [平成 15・16・17 年度科学研究費補助金研究成果報告書, (2006)]
渥美恵美, 大淵憲一
- 258) 対人行動. [海保博之・楠見孝(監修), 佐藤達哉・岡市廣成・遠藤利彦・大淵憲一・小川俊樹(編集)「心理学総合事典」, (2006), 416-428]
大淵憲一
- 259) 集団同一化と集団志向性が集団非行に及ぼす影響: 一般群と非行群との比較. [応用心理学研究, 32, (2007), 61-72]
中川知宏・仲本尚史・山之端津由・大淵憲一
- 260) Cognitive causes of conflict avoidance among Japanese: An approach from pluralistic ignorance. [Progress in Asian Social Psychology, 6, (2007)]
Ohbuchi, K. & Saito, T.
- 261) An experimental study on the effects of excitability and correctability on electronic negotiation. [Negotiation Journal, 23, (2007), 283-305]
Hatta, T., Ohbuchi, K., & Fukuno, M.
- 262) メディア社会の中の暴力. [児童心理, (2007)]
大淵憲一
- 263) 弁明選択の心理的および状況的規定因と文化的価値: 何が謝罪を困難にするか? . [文化, 70, (2007)]
大淵憲一・渥美恵美
- 264) Forgiveness and Justice: Victim Psychology in Conflict Resolution. [Social Justice in Japan: Concepts, Theories and Paradigm, (2007), 107-126]
Takada, N. & Ohbuchi, K.
- 265) 低自己統制と集団同一化が集団的不良行為に及ぼす影響: 専門学校生を対象とした回想法による検討. [犯罪心理学研究, 45 (2), (2007), 37-46]
中川知宏, 大淵憲一
- 266) 社会的排斥と暴力: 理論的・実証的検討. [東北大学文学研究科年報, 57, (2007), 109-120]
大淵憲一
- 267) 社会的交流技能実習事前教育プログラムに関する研究: 社会的交流技能自己評価(SA)尺度 Ver2 作成と因子分析. [東北文化学園大学リハビリテーション学科紀要, 4, (2007), 11-19]
渥美恵美, 大淵憲一, 稲垣成昭, 勅使河原麻衣

- 268) 社会的交流技能事前教育プログラムに関する研究：学生の自己評価と性格要因の検討。〔東北文化学園大学リハビリテーション学科紀要, 4, (2007), 21-28〕
稲垣成昭, 渥美恵美, 勅使河原麻衣, 大淵憲一
- 269) Do people reject apology for group harms? A cross-cultural consideration. [Tohoku Psychologica Folia, 66, (2007), 46-53]
Ohbuchi, K., Atsumi, E., & Takaku, S.
- 270) Gender differences in the cognitive cause of Japanese conflict avoidance: An approach in pluralistic ignorance. [Tohoku Psychologica Folia, 66, (2007), 62-67]
Saito, T. & Ohbuchi, K.
- 271) The moderation effect of justifiability for aggression between dehumanizing labels and aggression.. [Tohoku Psychologica Folia, 66, (2007), 97-104]
Tamura, T. , Ohbuchi, K.
- 272) 集団同一化と集団志向性が集団非行に及ぼす効果—集団構造による差異の検討—。〔平成 18 年度社会安全研究財団報告書（一般研究助成）, (2007)〕
中川知宏, 仲本尚史, 國吉真弥, 森丈弓, 山入端津由, 大淵憲一
- 273) The social bonds of justice: Theory and research. [In K. Ohbuchi (Ed.), Social justice in Japan: Concepts, theories and paradigms. Melbourne: Trans Pacific Press., (2007), 3-33]
Ohbuchi, K.
- 274) The structure justice: Theoretical considerations. [In K. Ohbuchi (Ed.), Social justice in Japan: Concepts, theories and paradigms. Melbourne: Trans Pacific Press, (2007), 72-92]
Ohbuchi, K.
- 275) Do people reject apology for group harm? A cross-cultural consideration. [CSSI Annual Report 2006, (2007), 142-151]
Ohbuchi, K.
- 276) 公共事業政策の評価と合意形成の社会心理学的研究：手続き的公正理論の応用。〔平成 15-18 年度科学研究費補助金研究成果報告書, (2007)〕
大淵憲一
- 277) 無意識の世界。〔阿部恒之・大淵憲一・仁平義明・行場次朗・辻本昌弘「心理学の視点 20」 国際文献印刷社, (2007), 1-12〕
大淵憲一
- 278) 個性の展開。〔阿部恒之・大淵憲一・仁平義明・行場次朗・辻本昌弘「心理学の視点 20」 国際文献印刷社, (2007), 13-24〕
大淵憲一
- 279) 異常心理学。〔阿部恒之・大淵憲一・仁平義明・行場次朗・辻本昌弘「心理学の視点 20」 国際文献印刷社, (2007), 25-36〕
大淵憲一
- 280) 社会的排斥と暴力：実験社会心理学的討論。〔2007 年暴力と毒品犯罪心理と矯正国際学術検討会大会手冊, (2007), 25-40〕
大淵憲一
- 281) Effects of visual cue and spatial distance on excitability in electronic negotiation. [Computers in Human Behavior, (2008)]
Hatta, T. & Ohbuchi, K.
- 282) 金銭と時間に関する余裕の見積もりと楽観性との関連。〔社会心理学研究, 24, (2008), 45-49〕
小松さくら, 大淵憲一

- 283) 社会資本整備における公共受容の要因：政策評価次元とデモグラフィック変数による分析. [土木学会論文集 D, 64, (2008), 325-339]
大淵憲一, 川嶋伸佳, 青木俊明
- 284) OT 臨床実習のための社会的交流技能の検討：概念構成と尺度開発. [文化, 71, (2008), 253-270]
渥美恵美, 大淵憲一
- 285) 不快情動と社会的関心への注意が交渉に及ぼす影響. [対人社会心理学研究, 8, (2008), 17-21]
八田武俊, 小林正和, 大淵憲一, 福野光輝
- 286) 現代日本人の価値観と伝統的思想：仏教、儒教、神道・国学の思想内容と調査項目の作成. [東北大学文学研究科研究年報, 58, (2008), 154-180]
大淵憲一, 佐藤弘夫, 三浦秀一
- 287) An empirical study of cultural values in Myanmar. [Tohoku Psychological Folia, 67, (2008), 10-20]
Moe, T. A. , Ohbuchi, K.
- 288) Cross-cultural study on victim ' s responses to apology in interpersonal and intergroup conflicts. [Tohoku Psychologica Folia, 76, (2008), 53-60]
Ohbuchi, K., Atsumi, E., Takaku, S.
- 289) 社会的排斥と不適応：実験社会心理学的検討. [平成 20 年度群馬大学社会心理学セミナー報告, (2008), 1-21]
大淵憲一, 群馬大学社会情報学部 (編)
- 290) Japanese ' conflict on justice: Fairness principles and social ideals. [CSSI Annual Report 2007, (2008), 124-131]
Ohbuchi, K.
- 291) 現代日本人における仏教、儒教、神道・国学思想の受容：社会調査による分析. [文化, 72 (3, 4), (2008), 101-122]
大淵憲一, 川嶋伸佳
- 292) 組織内葛藤. [大淵憲一 (編), 葛藤と紛争の社会心理学：対立する人の心と行動 北大路書房, (2008), 84-94]
大淵憲一
- 293) 葛藤と紛争の社会心理学. [大淵憲一 (編), 葛藤と紛争の社会心理学：対立する人の心と行動 北大路書房, (2008), 1-6]
大淵憲一
- 294) 不平等と公正. [原純輔・佐藤嘉倫・大淵憲一 (編著)「社会階層と不平等」 放送大学教育振興会, (2008), 209-221]
大淵憲一
- 295) 公正な社会を目指して. [原純輔・佐藤嘉倫・大淵憲一 (編著)「社会階層と不平等」 放送大学教育振興会, (2008), 222-233]
大淵憲一
- 296) 非当事者攻撃に対する集団同一化と被害の不公正さの効果. [社会心理学研究, 24, (2009), 200-207]
熊谷智博, 大淵憲一
- 297) 対人葛藤における寛容性の研究：寛容動機と人間関係. [社会心理学研究, 24, (2009), 208-218]
高田奈緒美, 大淵憲一
- 298) 地域に対する愛着の形成機構—物理的環境と社会的環境の影響—. [土木学会論文集, 65, (2009), 101-110]
引地博之, 青木俊明, 大淵憲一
- 299) Aggression in soccer: An exploratory study of accounts preference. [Research Quarterly for Exercise and Support, 80, (2009), 398-402]

Tracet, A., Rasclé, O., Souchon, N., Coulomb-Cabagno, G., Petrucci, C., & Ohbuchi, K.

- 300) A cross-national examination of the perpetrator-victim account estimation bias as a function of different types of accounts. [Asian Journal of Social Psychology, (2009)]
Takaku, S., Green, J. D. & Ohbuchi, K.
- 301) Avoidance brings Japanese employees what they care about in conflict management: Its functionality and "Good Member" image. [Negotiation and Conflict Management, (2009)]
Ohbuchi, K. , Atsumi, E.
- 302) 日本の伝統的価値尺度の作成：仏教、儒教、神道・国学思想に基づいて. [文化, **73**, (2009), 110-140]
大淵憲一, 川嶋伸佳
- 303) 犯罪理論の新展開：統制理論と緊張理論. [東北大学文学研究科年報, **59**, (2009), 206-232]
大淵憲一
- 304) Motives of anger in relationships: Relationship closeness moderates anger evoked motives. [Tohoku Psychologica Folia, **68**, (2009), 38-48]
Uehara, S. , Nakagawa, T. , Mori, T. , Kunisa, Y. , Ohbuchi, K.
- 305) Forgiveness for conflict resolution in Asia: Its compatibility with justice and social control. [In C. J. Montiel & N. M. Noor (Eds.), Peace psychology in Asia. New York: Springer, (2009), 221-236]
Ohbuchi, K. , Takada, N.
- 306) Avoidance brings Japanese employees what they care about in conflict management: Its functionality and "Good Member" image. [Negotiation and Conflict Management, **2** (3), (2010), 117-129]
Ohbuchi, K. , Atsumi, E.
- 307) 家族と暴力：現代日本の「車輪の下」. [家族療法研究, **27**, (2010), 227-233]
大淵憲一
- 308) A cross-national examination of the perpetrator-victim account estimation bias as a function of different types of accounts. [Asian Journal of Social Psychology, **13**, (2010), 274-285]
Takaku, S. , Green, J. D. , Ohbuchi, K.
- 309) 現代日本人による伝統的価値の受容：社会属性との関連. [文化, **73** (3, 4), (2010), 21-46]
大淵憲一, 川嶋伸佳
- 310) 社会階層と公正感：多元的公正判断と社会的属性の関係. [文化, **73** (3, 4), (2010), 83-99]
川嶋伸佳, 大淵憲一, 熊谷智博, 浅井暢子
- 311) 日本における社会階層と価値観. [東北大学文学研究科年報, **60**, (2010), 107-128]
大淵憲一
- 312) Gender differences in Japanese conflict avoidance: An interpretation from closeness. [Tohoku Psychologica Folia, **69**, (2010), 1-7]
Saito, T. , Ohbuchi, K.
- 313) The role of social anxiety in anger against norm violations. [Tohoku Psychologica Folia, **69**, (2010), 40-52]
Uehara, S. , Nakagawa, T. , Komatsu, S. , Ohbuchi, K.
- 314) 日本思想から見た正義・公正観念：社会心理学的検討. [平成 19 年度～ 21 年度科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究，課題番号 19653060）研究成果報告書, (2010)]
大淵憲一
- 315) 作業療法学生のための社会的スキル学習に対する臨床実習の効果. [応用心理学研究, **36** (2), (2011), 114-123]
渥美恵美, 大淵憲一

- 316) 多元的公正感と抗議行動：社会不変信念、社会的効力感、変革コストの影響。[社会心理学研究, 27, (2011), 63-74]
川嶋伸佳, 大淵憲一, 熊谷智博, 浅井暢子
- 317) 社会的不平等とミクロ公正感：不公正感受性の効果。[法と心理, 11, (2011), 47-57]
川嶋伸佳, 大淵憲一, 熊谷智博, 浅井暢子
- 318) 関係規範の違反に対する怒り感情：人間関係タイプ、欲求の関係特異性、及び欲求伝達の影響。[実験社会心理学研究, 51, (2011), 32-42]
上原俊介, 船木真悟, 大淵憲一
- 319) 社会的交流技能自己評価尺度の妥当性の検証 臨床実習指導者評価を用いて。[感性福祉研究所年報, 12, (2011), 163-174]
渥美恵美, 大淵憲一, 勅使河原麻衣
- 320) 怒りの動機を規定する人格要因：共有的志向性の影響。[文化, 75, (2011), 40-55]
上原俊介, 中川知宏, 森丈弓, 国佐勇輔, 大淵憲一
- 321) Dispositional determinant of anger at norm violations: Does it reflect an individual's selective responsibility for needs?. [Tohoku Psychologica Folia, 70, (2011), 10-20]
Uehara, S., Nakagawa, T., Mori, T., Shimizu, K., Ohbuchi, K.
- 322) Negative Effects of the Exposure to Benevolent Sexism on Women's Task Performance. [Tohoku Psychologica Folia, 70, (2011), 36-43]
Yamamoto, T., Ohbuchi, K.
- 323) Social class and values in Japan. [In K. Ohbuchi & N. Asai (Eds.), Inequality, discrimination and conflict in Japan: Ways to social justice and cooperation. Balwyn North, Australia: Trans Pacific Press, (2011), 22-40]
Ohbuchi, K.
- 324) Preface. [In K. Ohbuchi & N. Asai (Eds.), Inequality, discrimination and conflict in Japan: Ways to social justice and cooperation. Balwyn North, Australia: Trans Pacific Press, (2011), 10-12]
Ohbuchi, K.
- 325) Maintaining the gender gap and benevolent sexism. [In K. Ohbuchi & N. Asai (Eds.), Inequality, discrimination and conflict in Japan: Ways to social justice and cooperation. Balwyn North, Australia: Trans Pacific Press, (2011), 115-130]
Yamamoto, T., Ohbuchi, K.
- 326) 関係規範の違反に対するシグナルとしての怒り感情：知覚された欲求責任違反の媒介的役割。[社会心理学研究, 27, (2012), 161-173]
上原俊介, 中川知宏, 森丈弓, 清水かな子, 大淵憲一
- 327) When does anger evoke self-interest and fairness motives? The moderating effects of perceived responsibility for needs. [Japanese Psychological Research, 54, (2012), 137-149]
Uehara, S., Nakagawa, T., Mori, T., Ohbuchi, K.
- 328) よりよい社会を求めて。[佐藤嘉倫・木村敏明(編) 『不平等生成メカニズムの解明：格差・階層・公正』 ミネルヴァ書房, (2013), 321-336]
大淵憲一
- 329) 不平等と不公正感。[佐藤嘉倫・木村敏明(編) 『不平等生成メカニズムの解明：格差・階層・公正』 ミネルヴァ書房, (2013), 299-320]
川嶋伸佳, 大淵憲一
- 330) 現代の犯罪の特徴。[谷口泰富・藤田主一・桐生正幸(編) 『現代社会と応用心理学7：クローズアップ犯罪』 福村出版, (2013), 16-21]
大淵憲一

- 331) 殺人：誰でもいいから殺したかった！．[谷口泰富・藤田主一・桐生正幸（編）『現代社会と応用心理学 7：クローズアップ犯罪』 福村出版, (2013), 22-31]
大淵憲一
- 332) Who suffers pluralistic ignorance of conflict avoidance among Japanese? Individual differences in the value of social harmony. [International Journal of Conflict Management, **24**, (2013), 112-125]
Saito, T. , Ohbuchi, K.
- 333) True and hollow forgiveness, forgiveness motives, and conflict resolution. [International Journal of Conflict Management, **24**, (2013), 184-200]
Takada, N. , Ohbuchi, K.
- 334) 心理学における正義研究パラダイム. [法社会学, **78**, (2013), 74-83]
大淵憲一
- 335) 日本語版怒り反すう尺度作成の試み. [応用心理学研究, **38**, (2013), 231-238]
八田武俊, 大淵憲一, 八田純子
- 336) The effects of spatial distance spreading on social presence, negotiation continuation norm and exit behavior in the electronic negotiation. [Journal of Media and Communication Studies, **5** (5), (2013), 52-55]
Hatta, T. , Ohbuchi, K.
- 337) 暴力とは何か. [子どもの虹情報研修センター紀要, **11**, (2013), 39-56]
大淵憲一
- 338) 攻撃性の顕在的・潜在的測度による攻撃行動の予測. [社会心理学研究, **29**, (2013), 25-31]
山脇望美, 山本雄大, 熊谷智博, 大淵憲一
- 339) 集団間葛藤研究の新展開：葛藤と紛争の社会心理学. [高木修（監修）大坊郁夫・竹村和久（編）『社会心理学研究の新展開：社会に生きる人々の心理と行動』、北大路書房, (2014), 126-140]
大淵憲一
- 340) 人間関係の親密さと葛藤解決：アタッチメントの効果. [安川文朗・石原明子（編）『現代社会と紛争解決学：学際的理論と応用』、ナカニシヤ出版, (2014), 82-103]
大淵憲一
- 341) 喫煙者に対する否定的評価と差別. [心理学研究, **85**, (2014), 121-129]
山本雄大, 佐藤潤美, 大淵憲一
- 342) Psychological analysis of serious juvenile violence in Japan. [Asian Journal of Criminology, **10**, (2014), 149-162]
Ohbuchi, K., Kondo, H.
- 343) 日本重大犯罪案件青少年の心理学的角度分析. [2014 年暴力與毒品犯罪心理與矯治兩岸 / 国際学術研究会大会手冊, (2014), 19-29]
大淵憲一
- 344) Psychological analysis of adolescents committing serious violence in Japan. [In Organizing Committee of (Ed.), Preliminary Program and Abstracts of the 6th Annual Conference of the Asian Criminological Society, (2014), 11-12]
Ohbuchi, K.
- 345) 伝統的価値観の国際比較：日本、韓国、中国、米国における神道的価値観. [文化, **78**, (2014), 42-109]
大淵憲一
- 346) 伝統的価値観（仏教、儒教、神道）の国際比較：価値観支持率を指標とする分析. [東北大学文学研究科年報, **64**, (2014), 65-86]
大淵憲一

- 347) 作業療法学生の適性評価尺度作成の試み. [リハビリテーション教育研究, 20, (2015), 98-99]
渥美恵美, 勅使河原麻衣, 大淵憲一
- 348) 伝統的価値観の国際比較：日本、韓国、中国、米国における仏教的価値観. [東北文化研究室紀要, 56, (2015), 1-20]
大淵憲一
- 349) 再犯防止に効果的な矯正処遇の条件：リスク原則に焦点を当てて. [心理学研究, (2016)]
森丈弓, 高橋哲, 大淵憲一

総説・解説記事

- 1) 悪意の推測. [健康教室, 33, (1982), 12-13]
大淵憲一
- 2) TV暴力はどれだけ有害か. [知識, 31, (1983), 67-73]
大淵憲一
- 3) 心理テストをどう理解し、使用すればよいか. [健康教室, 34, (1983), 18-25]
大淵憲一
- 4) 子供の発達としつけ. [大阪市幼児教育振興協会お母さんの幼児教育読本、第一集, (1984)]
大淵憲一
- 5) ハワイの校内暴力. [日本学校保健会海外情報ニュース, 8, (1984)]
大淵憲一
- 6) 児童の行動問題と学校環境：イギリスにおける研究. [日本学校保健会海外情報ニュース, 9, (1984)]
大淵憲一
- 7) 体格と性格. [少年写真新聞第72号「心の健康ニュース」, 72, (1986)]
大淵憲一
- 8) ストレスとストレス反応の個人差. [日本学校保健会海外情報ニュース, 12, (1986)]
大淵憲一
- 9) 「いじめ」の心理とその指導. [保険教材ニュース解説版, (1986)]
大淵憲一
- 10) 子供の心の健康. [保健教材ニュース解説版, 1231, (1988)]
大淵憲一
- 11) パターソンの家族変容の技法について. [現代のエスプリ 272：家族療法と行動療法, 272, (1990), 68-79]
大淵憲一
- 12) 繁栄社会のネガの映像. [現代のエスプリ：少年非行の変貌, 285, (1991), 160-170]
大淵憲一
- 13) 男の子・女の子：きょうだいのしつけ Q & A. [PHP 別冊, (5月), (1993), 53-56]
大淵憲一
- 14) 米国駐在員の対人葛藤. [現代のエスプリ：異文化間コンフリクト・マネジメント, 308, (1993), 59-69]
大淵憲一
- 15) 人間関係スキル：自己チェックのための手引き. [看護部門, 6, (1993), 12-19]
大淵憲一

- 16) 暴力の多様性とその論点. [現代のエスプリ：暴力の行動科学, 320, (1994), 5-9]
大淵憲一
- 17) 攻撃動機の2過程モデル. [現代のエスプリ：暴力の行動科学, 320, (1994), 195-206]
大淵憲一
- 18) 子供と社会：対人関係を通して. [教育総研パム子育て講演会レクチャーノート, (83), (1996)]
大淵憲一
- 19) 職場における紛争解決の理論と実績的問題. [看護部門, 9 (4), (1996), 31-38]
大淵憲一
- 20) アンケート調査の方法：回答者の心理を考えて. [主任 & 中堅, 5 (6), (1996), 30-35]
大淵憲一
- 21) 子供の成長を支える人間関係力：ふれ合う関係ルールの中から教育を. [教育総研子どもと考える情報誌「みらい」, (1997-1998 冬), (1998), 45-52]
大淵憲一
- 22) 心理学実験研究：論文の書き方. [ナカニシヤ出版人間科学研究法ハンドブック, (1998), 227-237]
大淵憲一
- 23) 質問紙調査法. [ナカニシヤ出版人間科学研究法ハンドブック, (1998), 149-170]
今在慶一郎・大淵憲一
- 24) 実験法. [ナカニシヤ出版人間科学研究法ハンドブック, (1998), 171-193]
福野光輝・大淵憲一
- 25) 暴力を理解する枠組み：攻撃の衝動性と戦略性. [ブシコ, 3, (2000), 44-49]
大淵憲一
- 26) 社会心理学を学ぶ. [北大路書房小林裕・飛田操(編)「教科書社会心理学」, (2000), 264-283]
大淵憲一, 佐藤達哉
- 27) 攻撃性の社会心理学 1：攻撃と攻撃性：理解のための理論的枠組み. [刑政, 111 (5), (2000), 98-106]
大淵憲一
- 28) 攻撃性の社会心理学 2：戦略的攻撃の心理過程. [刑政, 111 (6), (2000), 92-100]
大淵憲一
- 29) 攻撃性の社会心理学 3：衝撃的攻撃の心理過程. [刑政, 111 (7), (2000), 76-86]
大淵憲一
- 30) 攻撃性の社会心理学 4：攻撃と性格. [刑政, 111 (8), (2000), 84-93]
大淵憲一
- 31) 攻撃性の社会心理学 5：攻撃的人格の形成. [刑政, 111 (9), (2000), 84-92]
大淵憲一
- 32) 攻撃性の社会心理学 6：マスメディアと暴力. [刑政, 111 (10), (2000), 80-88]
大淵憲一
- 33) 攻撃性の社会心理学 7：集団と暴力. [刑政, 111 (11), (2000), 90-98]
大淵憲一
- 34) 学校でのいじめ：過去の20年間の研究からの知見. [日本学校保健会海外情報ニュース, 40, (2000)]
大淵憲一

- 35) 児童期の問題行動と青年期非行の関係：暴力・反抗・多動について. [日本学校保健会海外情報ニュース, 40, (2000)]
大淵憲一
- 36) 暴力を理解する枠組み：攻撃の衝動性と戦略性. [プシコ, (3), (2000), 44-49]
大淵憲一
- 37) 子供の攻撃性が暴力に変わるとき：非行の現実と青年心理. [児童心理, 55 (1), (2001), 105-111]
大淵憲一
- 38) 社会の中の社会心理学. [有斐閣山岸俊男(編), 「社会心理学キーワード」, (2001), 197-216]
大淵憲一
- 39) 子供の攻撃性が暴力に変わるとき：青年期の暴力と自己関心. [児童心理, 55 (2), (2001), 106-112]
大淵憲一
- 40) 子供の攻撃性が暴力に変わるとき：マス・メディアの影響. [児童心理, 55 (3), (2001), 109-115]
大淵憲一
- 41) 子供の攻撃性が暴力に変わるとき：青少年の暴力と集団. [児童心理, 55 (4), (2001), 107-112]
大淵憲一
- 42) 暴力の心理過程とパーソナリティー. [犯罪と非行, 130, (2001), 5-25]
大淵憲一
- 43) 非人間性の心理：道徳的弛緩と道徳的排除. [心理学ワールド, 14, (2001), 21-24]
大淵憲一
- 44) 暴力映像に影響を受ける子どもたち. [プシコ, 25, (2002), 10-15]
大淵憲一
- 45) 2002FIFA ワールドカップサッカー大会ガイドライン. [JAL 運航本部・客室本部・危機管理部, (2002)]
大淵憲一・John Williams(監修)
- 46) 紛争解決の心理学：葛藤を如何に扱うか. [プシコ, 26, (2002), 10-15]
大淵憲一
- 47) 動物と人間：アニマル・セラピー. [放送大学宮城学習センター『ハロー・キャンパス』, (46), (2003), 1-2]
大淵憲一
- 48) 対人葛藤の解決スキル. [教育と医学, 51 (10), (2003), 19-27]
大淵憲一
- 49) 小特集 21世紀 COE プログラム：東北大学社会階層と不平等研究教育拠点. [心理学ワールド, 26, (2004), 28]
大淵憲一
- 50) 人間の幸福と社会の安全. [財団法人社会安全研究財団季刊・社会安全, (53), (2004), 1]
大淵憲一
- 51) 日本人と公正：社会心理学的アプローチ. [東北大学季刊「まなびの杜」, (32), (2005)]
大淵憲一
- 52) 反芻の心理：暴力犯罪者の思考パターン. [更生保護, 56 (6), (2005), 6-12]
大淵憲一
- 53) 日本人の感情表現. [放送大学宮城学習センター『ハロー・キャンパス』, (54), (2005), 2]
大淵憲一

- 54) 犯罪心理学. [ばんぶう, (2006), 38-39]
大淵憲一
- 55) 『思春期』という言葉. [ばんぶう, (2006年3月), (2006), 109]
大淵憲一
- 56) 日本人と公正：社会心理学的アプローチ. [まなびの杜 < 東北大学 > 知的探検のススメ, 2, (2006), 52-53]
大淵憲一
- 57) いじめにおける「からかい」：その功罪. [児童心理, (843), (2006), 23-28]
大淵憲一
- 58) メディア社会の中の暴力. [至文堂児童心理「子どもの暴力にどう向き合うか：教師・親ができること」2007年10月号臨時増刊, (2007)]
大淵憲一
- 59) 持つものと持たざるもの：「人間的感情」と差別意識. [至文堂現代のエスプリ, 494, (2008), 167-175]
田村達, 大淵憲一
- 60) 環境犯罪学のすすめ：「地域共同体」崩壊後の防犯を考える. [地域づくり, 5, (2008), 2-5]
大淵憲一
- 61) 記憶は作られるか？. [放送大学宮城学習センター「ハロー・キャンパス」, (66), (2008), 2-3]
大淵憲一
- 62) 感情教育のニュアンス：その光と影. [現代のエスプリ, 494, (2008), 5-35]
大淵憲一, 白井利明, 松本由起子
- 63) 怒りを活用する心理教育. [現代のエスプリ, 503, (2009), 185-195]
大淵憲一
- 64) 健全な自己愛を育てる. [児童心理, 899, (2009), 32-38]
大淵憲一
- 65) 刑事裁判における謝罪. [季刊社会安全, 76, (2010), 1]
大淵憲一
- 66) 民族間の融和は可能か：接触仮説の可能性. [Tasc Monthly, 414, (2010), 8-13]
大淵憲一
- 67) 反社会性の行動遺伝学. [青少年問題, 57, (2010), 2-7]
大淵憲一
- 68) 家族と暴力：現代日本の「車輪の下」. [放送大学宮城学習センター「ハロー・キャンパス」, (75), (2010), 2-3]
大淵憲一
- 69) 人間関係のストレス軽減効果：愛着対象との接触. [まなびの杜, 61, (2012), 5]
大淵憲一
- 70) 日本更生保護学会設立に期待する. [更生保護学研究, 1, (2012), 15-17]
大淵憲一
- 71) 自己統制が人生を決定する？. [刑政, 124 (1), (2013), 64-65]
大淵憲一
- 72) 犯罪研究における自己統制. [刑政, 124 (5), (2013), 66-67]
大淵憲一

- 73) 自己統制研究の進展：自己統制は能力か努力か？ . [刑政, 124 (9), (2013), 66-67]
大淵憲一
- 74) 自己統制の社会心理学 1：自己統制の心的資源論. [刑政, 125 (1), (2014), 66-67]
大淵憲一
- 75) 自己統制の社会心理学 2：排斥と暴力. [刑政, 125 (5), (2014), 64-65]
大淵憲一
- 76) 自己統制の発達とその支援. [刑政, 125 (9), (2014), 78-79]
大淵憲一
- 77) 恩師を語る. [学士会 U7, 54 (3月号), (2014), 58-61]
大淵憲一
- 78) 自著を語る. [青少年問題, 62, (2015), 57]
大淵憲一
- 79) 自著を語る『紛争と葛藤の心理学』. [日本心理学会心理学ワールド, (71), (2015), 41-41]
大淵憲一